

学会誌著作権規程並びに投稿規定改定の主旨

■改定の必要性

- 1) オンライン投稿の常態化に伴う投稿等のやりとりを実態に近づける必要
- 2) 査読論文の扱いの曖昧性を回避し明確にする必要
- 3) 投稿の実態や J-STAGE 掲載を含めたオンライン化にあわせてページ制限を緩和する必要
- 4) 論文審査委員会と学会誌編集委員会の役割分担を示す必要

■改定の方針

- 1) 原稿のやりとりはすべて電子化し、郵送によるやりとりを廃止
- 2) 論文・記事の区分の見直し（下記の早見表を参照）
- 3) 主に短報のページ数制限を緩和
- 4) 論文・記事のカテゴリーに合わせた投稿先の明確化

■論文・記事カテゴリー改定の早見表

現状のカテゴリー

「投稿記事」

「査読論文（論文）」

「査読論文（短報）」

「コメント」

「書評・紹介」

「解説」

「文献紹介」

「広告記事」

「依頼記事」

・査読委員会（査読）

・学会誌編集委員会
（校正以降）

・学会誌編集委員会
（確認・校正）

今次提案するカテゴリー

「論文」

「査読論文（原著） original article」

「査読論文（短報） short article」

「査読論文（総説） review article」

「依頼論文 invited article」

「記事」

「コメント」

「書評・紹介」

「解説」

「文献紹介」

「報告」

「広告」